



## 南極地域観測隊長等の来豊について

市では、南極地域観測隊（越冬隊・平成23年度～）に国立極地研究所からの派遣要請を受け職員を派遣することになりました。

候補者を選定し、推薦するにあたり、第53次南極地域観測隊の山岸久雄隊長および土井浩一郎副隊長をお招きし、豊岡市長の思いを伝えるとともに候補者との顔合わせを行うこととしました。

### 1. 候補者（2名）の決定

応募者6名（男性5名、女性1名）の中から、応募の動機などから総合的に判断し、男性職員2名（40代と30代）を候補者とし、うち1名を推薦（40代）します。

### 2. 職員派遣概要

#### （1）目的

植村直己のあこがれの地（現地に行ったが戦争のため冒険中止）でもあった南極は、国立極地研究所が中心となって観測隊を派遣し極地観測や学術研究が進められており、環境問題への取組みの象徴的な場所です。

この派遣は以下を目的として実施します。

職員の南極での体験や得られた知識を広く直接に市民に伝えることにより、環境都市の実現に向けた市民の意識啓発を図る。

南極に職員を派遣し、実体験と研鑽を積み重ねることにより、職員全般の環境意識を高め、環境都市・豊岡の実現に資する。

身近な地元職員の南極への派遣を通じて、子どもたちの極地に対する関心を高めることにより、植村直己の精神である冒険心を育て、逞しく生きる力の涵養に資する。

#### （2）派遣期間

約1年9ヶ月（平成23年7月～平成25年3月）

南極へは平成23年11月出発（南極滞在期間は約1年4ヶ月）、それまでは準備期間

#### （3）派遣先

国立極地研究所（大学共同利用機関法人情報システム研究機構）～第53次南極地域観測隊（南極・昭和基地）

#### （4）職務内容

観測隊での設営に関する業務（環境保全～廃棄物処理、浄化槽の維持管理、資材調達等）



## (5) 諸事項

### 派遣職員の身分

豊岡市の身分を保有（文部科学省から隊員として委嘱）

### 勤務条件

- ・給与は豊岡市から支給します。
- ・極地研究所からは業務に係る旅費、極地観測手当相当分が支給されます。
- ・勤務時間、サービス等は派遣先の勤務条件に服します。
- ・出発前準備期間の国内住居については、極地研究所により確保されます。

## 3. 今後の予定

- ・平成 23 年 1 月～ 健康診断（東京）
- ・平成 23 年 3 月 事前訓練（乗鞍）
- ・平成 23 年 6 月下旬 南極地域観測統合推進本部（本部長：文部科学大臣）総会にて確定

## 参考

### 第 5 3 次南極地域観測隊長（兼夏隊長）

山岸 久雄（やまぎし ひさお） さん

【現 職】 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構  
国立極地研究所研究教育系教授

【専門分野】 超高層物理学

【南 極 歴】 第 1 9 次南極地域観測隊（越冬隊）  
第 2 6 次南極地域観測隊（越冬隊）  
第 3 6 次南極地域観測隊（夏隊）  
第 3 8 次南極地域観測隊（副隊長兼夏隊長）  
第 4 5 次南極地域観測隊（副隊長兼越冬隊長）

### 第 5 3 次南極地域観測隊副隊長（兼越冬隊長）

土井 浩一郎（どい こういちろう） さん

【現 職】 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構  
国立極地研究所研究教育系准教授

【専門分野】 測地学

【南 極 歴】 第 4 1 次南極地域観測隊（越冬隊）  
第 4 5 次南極地域観測隊（越冬隊）

〔問合せ〕豊岡市総務部職員課 0796 - 23 - 1326